

令和7年度 第2回  
雲南地域保健医療対策会議 概要

令和8年1月29日(月)

14:00~16:00

雲南保健所集団指導室(ハイブリッド)

議事

**(1) 医療介護総合確保促進基金における医師確保計画推進に関する支援事業費補助金の事業計画(雲南市立病院)【資料1-1・2】**

- ・雲南圏域内の医療体制維持のため、雲南市立病院から他病院への医師派遣に伴う逸失利益補填を目的とした補助金申請計画を審議。
  - ・令和8年度の確保医師数は0.7名相当を想定。
- 異議なく承認。

**(2) 第8次島根県保健医療計画の進行管理について【資料2-1・2】**

**重要業績評価指標(KPI)について**

- ・がん検診受診率、特定保健指導実施率、妊娠届出率、小児救急相談件数などで目標未達(評価C)の指標が複数確認。
- ・一方、緩和ケア研修、災害医療訓練などは回数増加がみられたが、全機関実施に至らず評価B。(質疑等)
- ・現状値と目標値の乖離について「実現困難ではないか」との指摘があり、引き続き市町・関係機関と連携し取り組む方針を確認。

**関係機関の取組状況**

- ・医療連携: 医師・看護師派遣、ICT(まめネット等)活用、研修・勉強会の継続。
  - ・救急・災害医療: ハイケアユニット整備、DMAT・DPAT体制維持、消防との合同訓練。
  - ・在宅医療・ACP: 訪問診療・訪問看護の継続、エンディングノート活用、在宅医療連携強化。
  - ・人材確保: 看護師・薬剤師不足が深刻。外国人介護人材の活用、奨学金制度、研修医受入等を実施。
  - ・健康づくり・介護予防: 減塩プロジェクト、介護予防事業、地域主体の健康活動を推進。(質疑等)
- (事務局) 1月6日発生地震について、大きな被害はなかったが、E-MIS等だけでは被災状況把握が不十分との課題を共有。今後は電話等による直接確認も併用し、情報収集体制を強化。

## 報告

### **（１）新たな地域医療構想について【資料３】**

- ・新たな地域医療構想（2040年見据え）
- ・病床機能の再定義、医療機関機能の可視化、区域見直し、会議体の再編などが検討中。
- ・国のガイドラインを踏まえ、令和11年度までに新構想策定予定。

### **（２）かかりつけ医機能報告制度について【資料４】**

- ・医療機関が有するかかりつけ医機能を県へ報告し、地域で不足機能を協議・確保する制度。
- ・G-MISによる報告が進行中（令和8年3月まで）。

### **（３）紹介受診重点医療機関について【資料５】**

- ・雲南圏域では新たな指定希望はなし。

### **（４）診療所の閉院・開院について【資料６】**

- ・一部診療所の廃止・承継状況を報告。

## 総括

- ・人口減少・人材不足という厳しい状況の中でも、各機関が連携し次の一手を模索していることを確認。
- ・医療法改正、新地域医療構想など今後の制度変化を見据え、病院と行政の連携強化が重要との認識を共有。